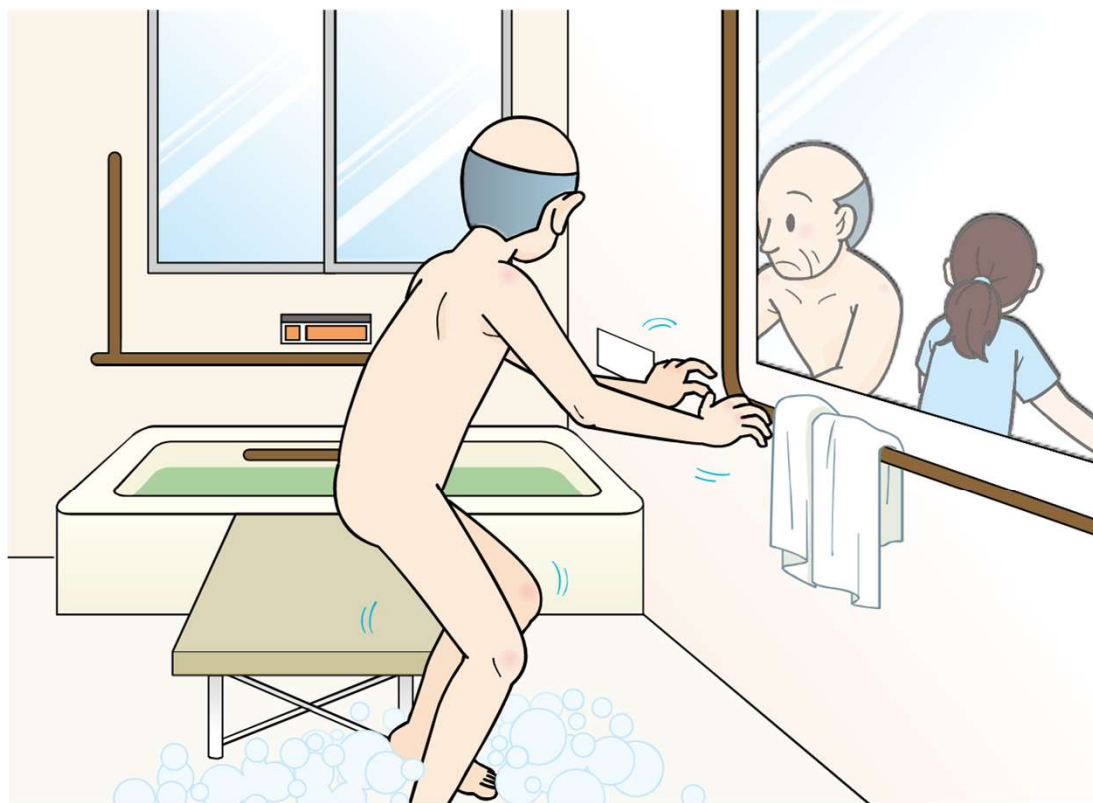


気づきのシート③ 入浴中

次のイラストから、どんなことに気づきますか？

課題となる状況、状態を、
複数の視点（例えば環境・心理・ADL）から見つけて、
それぞれの課題への対応を考えましょう。



解答例

- 足元に石鹼等の泡が残っており、滑りやすくなっている。
→ 洗身/洗髪後には必ず動線上の床面を確認。
- 次の行動 (ここでは浴槽への移動と) に意識が向いている際、手すりの把持等が確実に遂行されない場合がある。
→ 介助が必要な対象者の場合、浴室内ではひとつひとつの動作を確実に目視しながら過介助にならないよう支援する。
- 介護者が利用者に背中を向けている。
→ ケースによることはあるが、立ち上がりや歩行といった大きな動きが発生する場合は利用者が見えるポジションをとることも重要である。

- ・異性介護になっている

→異性介護を虐待と考える方がいる一方で、ケアは利用者と介護者との関係性によって成り立っており入浴介助や排せつ介助において性差は関係ないという考え方もあります。

あなたの施設では、どのように考えますか？

教材作成

特定非営利活動法人 まちあす 代表理事

(株)未来企画 介護事業部長

前東北保健医療専門学校 介護福祉科 学科長

軍司 大輔